

始良市議会だより

あいあいがさ



7月
臨時号
No.55

令和6年7月31日発行

始良市議会議長 小山田 邦弘

始良市議会は、今後の議員定数と議員報酬について調査・研究し、定数20人、報酬41万2千円の案を検討してまいりました。これらの妥当性や根拠について、議会と語る会等で多くの疑念が示され、加えて、新聞報道で根拠に誤りがあるとの指摘を受けました。

市議会として、これらの疑念や指摘を払拭できないままでは、市民との信頼関係を損ない、さらに政治不信を招く恐れがあると判断し、定数及び報酬の議論を一旦白紙に戻す決断をいたしました。

今後は、皆様との信頼回復を最優先とし、疑念や不信を生じさせた原因を究明するとともに、再発防止策を講じてまいります。

市民の皆様との信頼関係を損ねてしまったことを深く反省し、心よりお詫び申し上げます。

議会改革推進会議 委員長 益森 隆史

令和6年5月、新しい体制での議会改革推進会議がスタートしました。

これまで、議会改革推進会議では、議員定数・議員報酬を最優先課題として議論を重ねてまいりましたが、地方議会では、人口減少や高齢化、地域社会の多様化など社会変化に適応することが求められており、本市議会においても様々な課題に取り組まなければならないと考えております。

今後も住民が参画しやすい市議会を目指し、市民の皆様のご意見をお聞かせいただきながら継続的に議会改革を進め、その中であらためて、議員定数・議員報酬についての議論を深めてまいります。